

インクルーシブの窓



令和8年2月 富山県教育委員会 教育みらい室 特別支援教育課

特別支援教育コーディネーターリーダーの真摯な取組を紹介します！その⑤



昨年11月に行われた特別支援教育コーディネーターリーダー研修会に参加された先生方の取組紹介の5回目です。

子供に主に関わる教師が共同でアセスメントシートへの記入、支援計画の立案、支援方法の共有を行った。関係機関との連携を深め、日々の支援に生かした。(小学校)

子供たちに読みのスキルのアセスメントを行い、読み書き指導や音読支援につなげている。学習における子供の具体的な姿を通して、教職員や保護者との共通理解を深めている。(小学校)

特別支援教育コーディネーターとして、保護者の不安に寄り添う共感的な姿勢で話を聞き、支援方法を共に考えることを大切にしている。(小学校)

校内教育支援委員会やケース会議のファシリテーションを行った。話し合いの活性化や共通理解につながった。(小学校)

校内教育支援委員会では、学びの場の検討と支援方法の検討を分けて行うなど、ポイントを絞って協議するようにした。(小学校)

昨年度から、特別支援学級担任と関係者の連絡会を継続して開いている。生徒の成長を確かめ合い、学びの場の見直しや進路選択等について、子供を真ん中においた話し合いを行っている。(中学校)

教職員や保護者に接する際に、共感的傾聴を心がけた。校内では、グラフィック・ファシリテーションの技法を用いた特別支援教育通信を発行した。(小学校)

外部の支援機関との細やかな連携を行った。校内では、個別の指導計画や気がかりな生徒の支援について情報共有を図った。(中学校)

日ごろから話しやすい雰囲気づくりと、管理職、特別支援教育コーディネーター同士、通常の学級担任、学習支援員等との連携の場を設けることを大切にしてきた。(小学校)

他校園を訪問した際、学級や学校園で取り組めるユニバーサルデザインについての情報提供も行っている。(特別支援学校)

小中学校への訪問支援では、小中学校の担当者と一緒に支援方法を考えることを心がけたコンサルテーションを行っている。(特別支援学校)

小教研等の研修の機会に、地域の小中学校の特別支援教育コーディネーターとの情報交換を積極的に行った。夏季休業中に、障害に応じた指導の実際についての研修会を開いた。(特別支援学校)

年度当初に送付している学校見学会の案内に併せて、障害のある幼児児童生徒に関するアンケートを実施し、回答のあった幼保小中学校との関係構築に努めている。(特別支援学校)

本校在籍生徒の保護者や関係機関との連絡調整を通し、良好な関係の維持と正確な情報共有に努めた。(特別支援学校)

